



第190号

2020年1月10日発行

横浜 西だより

発行
(公社)神奈川労務安全衛生協会
横浜西支部 事務局
横浜市戸塚区吉田町631
元町清水ビル203号
TEL 045-864-5354
FAX 045-864-5022
編集
横浜西支部広報部会



新年のご挨拶



(公社)神奈川労務安全衛生協会 横浜西支部

支部長 岡村 健一

2020年の新春を迎え、会員事業場の皆様に謹んでお喜び申し上げます。

昨年の支部事業運営に際しましては、横浜西労働基準監督署のご指導のもと、会員事業場の皆様からの多大なるご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。おかげ様で2019年の事業活動につきましては、計画通り無事に進めることができました。改めまして心より感謝申し上げます。

さて、2020年は「第13次労働災害防止計画」の5ヶ年計画(2018年度～2022年度)の3年目となります。労働災害防止計画が目指す社会は「働く方々の一人ひとりにはかけがえのない存在であり、それぞれの事業場において、一人の被災者も出さないという基本理念の下、働く方々の一人ひとりがより良い将来の展望を持ち得るような社会」を目標としております。事業場における「ゼロ災害・ゼロ疾病」に向け取り組むべき課題は多岐にわたりますが、労働災害防止計画の実現に向け、更なる改善が求められます。

また、昨年の4月1日から働き方改革関連法が順次施行されました。特に、労働時間法制の見直しは残業時間の上限規制を導入し、年次有給休暇の年5日の時季指定の企業への義務化、同一労働同一賃金に向けた均衡待遇や均等待遇の実施が主な内容です。

少子高齢化が進み労働力人口が減少しており、全業種とも労働者不足は全国的な課題となっておりますが、特に建設業、運送業などの業種は深刻な状況です。このような状況の下、多様な働き手の参画と人材確保のためには、職場環境を改善し「魅力ある職場づくり」が必要とされています。よりよい職場環境を実現するには長時間労働を是正し、従業員教育を充実することで、作業の平準化が図られ健康障害や労働災害を防止する効果が期待されます。会員事業場の皆様におかれましても、さまざまな課題があると思われそうですが、従前の働き方を見直し多様な事情に対応することで、働く方々全員が安全・安心して生き生きと健康的に働けるような環境づくりが進められると考えます。

本年も横浜西支部においては、横浜西労働基準監督署のご指導のもと、示された計画に基づき、様々な課題に対応すべく各種事業を推進してまいります。会員事業場の皆様には引き続きご理解とご協力、各種研修への積極的なご参加をお願い申し上げます。

結びに、本年が会員事業場の皆様にとって素晴らしい年になりますよう祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



横浜西労働基準監督署

署長 大屋 季之

新年あけましておめでとうございます。

(公社)神奈川労務安全衛生協会横浜西支部ならびに会員事業場の皆様には、日頃から当署の行政運営に格別なご理解とご協力を賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

当署では、本年も、働く方々が安心して安全に働くことができるよう次の施策を中心に取り組むこととしております。

第一に、働き方改革についてです。

働き方改革関連法については、昨年4月から順次施行されているところですが、特に、労働時間法制の見直しは重点の一つとされ、時間外労働の上限規制や年次有給休暇の時季指定義務等、ワークライフバランスと多様な働き方を実現することを目的とした見直しとなっております。この改定内容について多くの方々に理解を深めていただくため、本年も引き続き、説明会の開催や個別訪問による説明などの各種支援を充実させ、円滑な施行に取り組んでまいります。

第二に、労働災害防止対策についてです。

本年も第13次労働災害防止推進計画の目標を達成するため、就業者の高齢化等に伴う転倒防止、腰痛予防の周知・啓発や職場におけるメンタルヘルス不調者の増加を踏まえたストレスチェックの適切な実施等のメンタルヘルス対策のほか、過重労働、化学物質を原因とする健康障害防止対策など様々な施策に取り組んでまいります。

以上のように、長時間労働の是正をはじめ、多くの行政課題に 대응するためには、貴協会との連携が非常に重要であると考えておりますので、本年も皆様のご理解とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



令和元年度（第78回）

全国産業安全衛生大会



令和元年度第78回「全国産業安全衛生大会」が10月23日から25日の3日間、全国から約12,100名の方々が参加し、京都市にて開催されました。本大会は、昭和7年第1回開催以来、事業場で働く職場の安全衛生に関わる関係者が全国から集い、産業現場でのゼロ災を目指し、犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにす国内最大のイベントであり、今回で78回目を迎えています。

令和の世となって初めての大会は、「平安の思いを込めた京の地で 新たに誓う 安全と健康」をテーマとして開催されました。会場は総合集會が開かれた京都市勧業館「みやこめっせ」を中心とした烏丸エリアに加え、京都駅エリア、竹田エリアの3エリアとコンパクトにまとめ、参加者の利便性に配慮された配置となっていました。これらエリアに計6会場が設けられ、15の分科会にて、210件の研究発表と40件の特別報告やシンポジウム、講演が2日間にわたって行われ、全国から安全衛生の第一線で活躍されている管理監督者、安全衛生担当者、経営者など、多くの方々による議論、情報交換等が行われました。

大会初日、総合集會第1部は、即位の礼翌日の非常に厳かな雰囲気の中、君が代斉唱にて開幕いたしました。開会式では、まず労働災害や昨今多発している自然災害での犠牲者の方々への哀悼の意を表し黙祷を捧げた後、中央労働災害防止協会副会長の開会の辞、中央労働災害防止協会会長の大会式辞（ビデオメッセージ）、厚生労働大臣（代読）、京都府知事、京都市長の祝辞、京都労働基準協会会長、スポーツ庁長官（ビデオメッセージ）挨拶がありました。続く表彰式では、安全衛生の推進に功労著しく、社会的に貢献した個人や団体として、「中央労働災害防止協会会長賞」2社、「顕功賞」3名、「緑十

字賞」91名が表彰されています。

そして、第1部の最後には、「令和の時代がスタートし、労働災害のない、安心して働ける職場環境を実現することは、全ての働く人、全ての国民の願いである。千年の歴史・伝統と先端・革新を融合した、ここ「京都」で開催される本大会は、企業の垣根を越えて情報提供や学習、異業種交流を行う場である。ここに、労働災害による犠牲者をこれ以上出さないという決意を新たにし、全ての関係者が一丸となって、労働災害防止に取り組む」ことを誓った大会宣言が採択されました。

第2部では、厚生労働省労働基準局の講演に続き、ヘルスケア・トレーナーの動きに合わせ中間体操が行われ、総合集會の締めくくりとして「おかあちゃんからもろた言葉～NHK連続テレビ小説「カーネーション」から～」と題して、世界的デザイナーであるコシノジュンコ氏により、デザイナーとして成長する中で、奮起のきっかけとなった母・綾子さんの言葉を振り返り、失敗をチャンスに変えてきた、「世界のJUNKO KOSHINO」が進む道などについての特別講演がありました。

大会2日目、3日目は、各分科会に分かれ、様々な研究や取組・事例の報告、パネルディスカッションやシンポジウムなどが行われ、各会場とも立ち見が出るほどの熱心な聴講ぶり、発表者と参加者との白熱した質疑応答などもあり、大変盛況な大会となりました。

次年度は、10月7日から9日の3日間、北海道は札幌市にて開催の予定です。

（住友電気工業㈱ 横浜製作所 名取 耕一朗）





令和元年度

神奈川労務安全衛生大会

令和元年度神奈川労務安全衛生大会が、去る11月7日（木）レンブランドホテル海老名で開催されました。大会の冒頭におきまして、これまでに産業労働の場及び自然災害の場において不幸にも尊い命を失われた方々に対し、謹んで哀悼の意を表し黙とうをささげた後表彰式と特別講演の2部構成で進められました。

第1部 神奈川労務安全衛生協会 調枝会長の開会挨拶にて、本年度が第13次労働災害防止推進計画の2年目であり、県内死亡者数は減少したこと、しかしながら、休業4日以上死傷者数は業種を問わず増加したため、目標達成が困難な見通しとの報告がありました。本年後半に向け経営トップのリーダーシップのもと一丸となって災害防止にあたる必要があると話されました。また、働き方改革推進目的の改正労働基準法及び改正労働安全衛生法が施行され、各事業場にて長時間労働の削減、産業保健機能の強化等、健康確保対策を積極的に取り組むことなどの話もありました。更に、今年度のスローガン「未来につなぐ安全文化 みんなで築く健康職場」に触れ、従業員一人ひとりとその家族が、安全で、安心して、健康に働くことのできる職場を目指すとの思いが込められていると説明がありました。

その後、来賓の方々からご祝辞とともに労務・安全・衛生における取り組みや課題などについて御言葉を頂きました。表彰式では、労務安全衛生功労賞58名が表彰され、横浜西支部からは3名の方が受賞されました。また、前年度の安全成績、活動状況で上位4支部が支部別安全競争を受賞されました。第1部の最後に大会宣言が読み上げられ、参加者全員で改めて産業・企業の健全な発展に向け、各事業場、各職場の英知と総力を結集することを誓いました。

第2部の特別講演では、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会理事で、水泳種目金メダリストの成田 真由美氏により、「THE パラリンピック」



と題し講演を頂きました。

前談、陸上の好きな中学生1年生が脊椎の損傷で突然走れなくなってから障害で車椅子の人の思いを皆に知ってもらいたいと考えるようになるまでの心の葛藤、必死に支えてくれた家族の思いを理解し感謝できる気持ちに変るまでを赤裸々に語って下さいました。

車椅子の障害者への無神経な言動や不適切対応についても、実体験を織り込みながらはっきりした口調で分かりやすく教えて頂きました。

水泳は病気になる前から仮病を使う程嫌いだったこと、障害者になって安易な理由から初めて水泳に挑戦し水の中では体が軽いことを知り、好成绩をとれたことが競泳を始めるきっかけとなったこと、カイ・エスペンハイン選手というライバルが居たから頑張れたことなども教えてくれました。

最後に、障害者には勇気を出して声をかけて欲しいこと、適切な支援・バリアフリー対策などについて一人ひとりの意識を変えて頂くよう切望されました。皆さんにとって、来年開催の東京パラリンピックは障害者に対しての意識を変える良い機会ではないでしょうか。

特別講演終了後は、受賞者の方々を囲む祝賀会が催され活発な意見交換をされていました。

(株)啓愛社 自動車部品事業部 久良知 秀郎)

受賞紹介

2019年11月7日（木）レンブランドホテル海老名にて開催された「令和元年度神奈川労務安全衛生大会」において、弊協会 調枝協会長より労務安全衛生功労賞を受賞しました。

【受賞者】

山田 梢氏 (株)ミツバ
安中 耕司氏 (株)日立アーバンインベストメント
佐藤 年伸氏 (株)ブリヂストン横浜工場

誠にありがとうございます。



山田氏、佐藤氏、安中氏、岡村支部長



監督署からの情報

大企業・親事業者の働き方改革に伴う 下請等中小事業者への「しわ寄せ」防止について

働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（平成30年法律第71号。以下「働き方改革関連法」という。）により改正された労働基準法（昭和22年法律第49号）に規定する罰則付きの時間外労働の上限規制や年5日の年次有給休暇の確実な取得を始めとする改正事項が順次施行される中、大企業・親事業者による長時間労働の削減等の取組が、下請等中小事業者に対する適正なコスト負担を伴わない短納期発注、急な仕様変更、人員派遣の要請及び附帯作業の要請などの「しわ寄せ」を生じさせている場合があります。

平成30年12月に下請中小企業振興法（昭和45年法律第145号）第3条第1項の規定に基づく振興基準が改正（平成30年経済産業省告示第258号）され、親事業者は、①自らの取引に起因して、下請事業者が労働基準関連法令に違反することのないよう配慮することや、②やむを得ず、短納期又は追加の発注、急な仕様変更などを行う場合には下請事業者が支払うこととなる増大コストを負担することなどが新たに盛り込まれました。

また、働き方改革関連法により改正された労働時間等の設定の改善に関する特別措置法（平成4年法律第90号）では、他の事業主との取引を行う場合において、長時間労働につながる短納期発注や発注内容の頻繁な変更を行わないよう配慮することが、事業主の努力義務となっています（平成31年4月1日施行）。

つきましては、適正なコスト負担を伴わない短納期発注、急な仕様変更、人員派遣の要請及び附帯作業の要請などを行わないことについて、貴殿におかれましても御理解いただくとともに、社内の発注や調達部署の役員、責任者、担当者等に対しまして、適正な発注等が行われているか、御確認のほどお願いいたします。



連絡先

横浜西労働基準監督署 監督課

電話

045-332-9311

FAX

045-332-9555



横浜西労働基準監督署の転倒災害発生状況 「STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川」の取り組み!

神奈川労働局・横浜西労働基準監督署

横浜西労働基準監督署管内の令和元年11月末において、死傷者数が最も多い災害は「**転倒災害**」と「**動作の反動・無理な動作**」で、各**114人**と各々約**20.5%**を占め、それぞれ**5人に1人の割合**となっており、労働者死傷病報告による休業見込日数は「**転倒災害**」が平均**38.7日**、「**動作の反動・無理な動作**」が平均**31.3日**とこの二種類の事故で、**骨折、腰痛、靭帯損傷**等重篤な災害となっているケースもあり、**1件当たりの災害が1か月を超える休業**を招く状況で、当該災害の防止対策の重要性は高まっています。

また積雪や凍結による転倒のリスクが高い冬季の前に転倒災害防止のための準備期間を設け、「**ころばNICEかながわ体操**」の体操の取り組みの推進、周知を図っています。神奈川労働局HPで動画を公開しています。

転倒災害は、どのような職場でも発生する可能性がありますので、関係するすべての人が問題意識を持って、転倒によるリスクの低減を行いましょ。

「ころばNICEかながわ体操」の動画を神奈川労働局ホームページで公開しています。

動画へ

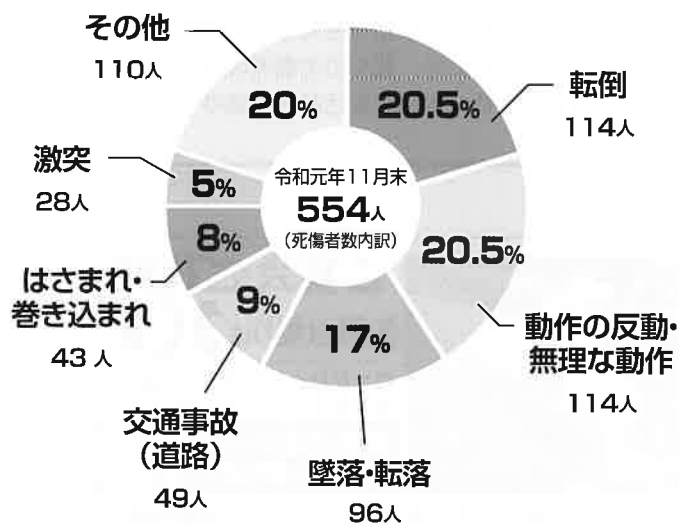


※再生できない場合があります。

https://jsite.mhlw.go.jp/kanagawa-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/hourei_seido/_-120208/koribanice.html

横浜西労働基準監督署 休業災害の現状

(令和元年11月末)



「STOP! 転倒災害サイト」をご活用下さい! →

転倒災害防止に向けたさまざまな対策の紹介



QRコード

<厚生労働省ホームページ> <職場のあんぜんサイトホームページ>

転倒災害の防止に効果のあった事業場の取組好事例、「危険の見える化」事例等転倒災害防止に役立つ保護具や用具、「4S活動」、「KY活動」、「チェックシート」などを紹介しています。

STOP! 転倒災害プロジェクト神奈川!



新春随想

横浜西労働基準監督署

安全衛生課長 宮本 満典

明けましておめでとうございます。

昨年は天皇陛下の皇位継承、G20サミットやラグビーワールドカップなど、世界中から人々が集まるイベントがあり、様々な刺激を受ける年でした。

特にラグビーワールドカップでは、適材適所に配置されたメンバーがチームワークを尽くして、ゴールを目指しゴールを守る姿は多くの人に感動を与えました。

日本チームは個々の能力を最大限に生かした攻撃やチームワークを生かしたスクラム等により体重差を跳ね除ける活躍を見せ、強豪国を相手に予選を一位で突破し、史上初のベストエイトに輝きました。

私は日本チームの活躍を見ながら、安全衛生活動とラグビーには相通ずるものがあると感じました。

仕事柄、安全衛生の業務を考えるうえで、労働災害を防止するためには、個々の労働者の安全意識を高め、事業場全体が安全衛生活動を推進する風土を

培うことができれば、不安全行動等の減少につながり、労働災害が減少していくと考えていますが、この考えは団体競技であるラグビーと共通する考え方があります。

チームや選手はけがをしないための準備を怠ることなく試合に臨んでいます。

災害も職場におけるリスクを適正に判断し対処すれば、未然防止に繋がる成果が期待できます。職場におけるリスクを把握、研究し事前にリスク低減措置を講じれば、大きな成果が期待できます。

今年も東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、実行機関等は様々なリスクに係る対策を準備しています。

会員の皆様方におかれましては災害防止準備を整え、本年が安全衛生活動の一層の躍進の年となることを祈念いたします。



名物 活いかけ 姿造り

ご宴会・ご接待
各種お集りは **きじま** で
ゆったりとした店内で美味しい海の幸をご堪能ください。
無料送迎バスで10名様よりご利用お迎えに参ります。

おもてなし館 きじま本陣 110座 ☎045-860-6233 横浜市戸塚区戸塚町3970	きじま大船店 120座 ☎0467-47-3434 鎌倉市大船1-11-7ファミコビル2F	きじま東戸塚店 145座 ☎045-822-7700 横浜市戸塚区品濃町516トラペ2F
--	--	---

▶ <http://www.kijimagroup.co.jp> きじまグループ

次の安全へ。 **M** 次の安心へ。
ミドリ安全
ミドリ安全株式会社
〒150-8455 東京都渋谷区広尾5-4-3
TEL.03-3442-8291 (代表)
www.midori-anzen.co.jp

一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会
会長 赤城 邦彦
〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町2-44-9
TEL 045-335-6900

山崎製パン株式会社
横浜第一工場
工場長 上垣 正博
〒244-8525 横浜市戸塚区上柏尾町15番地
TEL 045-822-0621



2019～2020年度 横浜西支部主要行事予定

1. 2019年度

開催日(曜日)	内容	募集人員	場所	
1月 30日(木)	フルハーネス型墜落制止用器具特別講習	42名	鎌倉芸術館「会議室1」	
2月	20日(木)	特定化学物質作業主任者能力向上教育	30名	建災防会横浜西分会「会議室」
	27日(木)	第2回KYT講習会	30名	鎌倉芸術館「会議室1」

2. 2020年度

開催日(曜日)	内容	
4月 10日(金)	新入社員安全衛生教育	
5月	12日(火)	リスクアセスメント実務研修会
	21日(木)	通常総会(鎌倉芸術館)
	25日(月)	第1回労務管理講習会
	27日(水)	全国安全週間用品配布
	6月	2日(火)
6月	4日(木)	第1回職長教育(2日間)
	5日(金)	
	11日(木)	
	22日(月)	第1回安全衛生推進者養成講習 (2日間)
	23日(火)	
7月	3日(金)	第1回KYT講習会
	9日(木)	第1回フルハーネス型墜落制止用器具 特別講習
	16日(木)	<夏季講座>
	17日(金)	有機溶剤作業主任者能力向上教育
8月	21日(金)	監督署届出手続き講習会
	26日(水)	全国労働衛生週間用品配布
	28日(金)	化学物質のリスクアセスメント
9月	10日(木)	全国労働衛生週間横浜西地区推進大会 【男女共同参画センター】
	17日(木)	優良施設見学研修会
	29日(火)	衛生管理者試験準備講習会(2日間)
	30日(水)	

開催日(曜日)	内容	
10月	7日(水)	【全国産業安全衛生大会】 【札幌市】
	8日(木)	
	9日(金)	
	19日(月)	第2回安全衛生推進者養成講習 (2日間)
	20日(火)	
	28日(水)	
29日(木)		
11月	6日(金)	産業保健研修会
	12日(木)	<神奈川県労働安全衛生大会>
	20日(金)	挟まれ巻き込まれ防止研修会
	25日(水)	年末年始無災害運動用品配布
12月	3日(木)	第2回労務管理講習会
1月	8日(金)	安全祈願・賀詞交換会・経営者セミナー 【鶴岡八幡宮・鶴ヶ岡会館】
	28日(木)	第2回フルハーネス型墜落制止用器具 特別講習
2月	4日(木)	第2回KYT講習会
	24日(水)	特定化学物質作業主任者能力向上教育

研修会場：鎌倉芸術館「集会室」、「会議室1」
建災防横浜西分会「会議室」

※研修会は、講師都合及び会場の抽選結果等により日程を変更する場合があります。

凡例 { < > : 協会本部主催
【 】 : 中央労働災害防止協会主催

入会事業場紹介

新しく入会された事業場を紹介します。

2019年度会員入会事業場紹介

① ところ安全・衛生事務所

安全衛生業務相談

新規会員募集

横浜西支部では、地域内(戸塚区、栄区、泉区、保土ヶ谷区、瀬谷区、旭区)にある事業場で、当協会に未加入の事業場等に対して加入促進活動を行っております。

近隣で又は、お知り合いで未加入事業場がございましたら事務局まで是非ご紹介ください。

(事務局 TEL 045-864-5354 FAX 045-864-5022)



謹賀新年

本年もよろしくお願ひ致します。



五十音順

一般財団法人神奈川県労働衛生福祉協会

会長 赤城 邦彦

〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町2-44-9
TEL 045-335-6901

株式会社鎌倉ハム村井商会

代表取締役 村井 洋介

〒246-0001 横浜市瀬谷区御本町2147番地の7
TEL 045-921-1041

住友電気工業株式会社

横浜製作所

製作所長 大井川 久夫

〒244-8588 横浜市栄区田谷町1番地
TEL 045-853-7182

日本自働精機株式会社

代表取締役社長 田中 宏和

〒245-0053 横浜市戸塚区上矢部町915番地
TEL 045-814-7850

株式会社パイオラックス

代表取締役社長 島津 幸彦

〒240-0023 横浜市保土ヶ谷区岩井町51番地
TEL 045-731-1211

株式会社日立製作所

システム&サービス人事総務本部

部長 鈴木 圭介

〒244-0817 横浜市戸塚区吉田町292番地
TEL 045-881-7161

ミドリ安全株式会社

横浜南支店

支店長 中山 雄介

〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町326番地湘南ビル1F
TEL 045-810-6235

森紙業株式会社

関東事業所

事業所長 鈴木 五郎

〒244-0812 横浜市戸塚区柏尾町628番地
TEL 045-822-7000

山崎製パン株式会社

横浜第一工場

工場長 上垣 正博

〒244-8525 横浜市戸塚区上柏尾町15番地
TEL 045-822-0627

～役員・事務局だより～

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には、ご健勝にて新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

私ども役員・事務局も新たな気持ちで2020年を元気で迎えることが出来ました。

昨年の支部運営につきましても、横浜西労働基準監督署のご指導、会員事業場皆様のご理解、ご協力に対し厚く御礼申し上げます。

お陰様で予定された事業は、参加者が減少したものの予定通り実施することが出来ました。


当支部では会員のニーズにあった事業の展開や会員皆様へのサービス向上に役員一同努力してまいります。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

(横浜西支部事務局長 飯島 輝夫)

～編集後記～

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、平成から令和の新元号となり、新時代への幕開けに希望に溢れていたのも束の間、近年に例のない台風による暴風と豪雨に襲われ、東日本を中心に日本列島は甚大な被害に見舞われました。皆様におかれても、被害に遭われた方に心を寄せ、一刻も早い日常を取り戻して欲しいと願うとともに、自然の猛威の前での無力さを改めて痛感されたのではないのでしょうか。避けようがない自然の猛威に対し、備えは万全にしたいものです。

さて本年は、東京でオリンピック・パラリンピック大会の一大イベントが開催されます。選手たちの一生懸命な姿は、見る人に勇気と元気を与えてくれます。日本選手の活躍に期待を寄せる一方、とにもかくにも、成功裏に終了することを願うばかりです(頑張れ!ニッポン!!)。

本年が皆様と、会員事業場にとって良い年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。(株)ニコン横浜製作所 田村 元一)